

本定例会は6月21日に招集され、会期を6月24日までの4日間と定めましたが、6月23日に審議を終え閉会しました。なお、行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

行政報告

まず初めに、4月14日からの熊本地震において、被災された多くの方々に心からのお見舞いを申し上げます。

今回の地震は揺れの大きさをただけではなく、今までに経験のない、長期間にわたる余震が連続するという大規模な災害となりました。再度の地震が来るかも知れない恐怖と不安から、我が家に入れないという現実、私の想像をはるかに超えるストレスにもなっているのではないのでしょうか。上島町としてはいち早く「熊本地震上島町支援対策



本部」を立ち上げ、愛媛県と連絡を取りながら、現地が必要とし、上島町で備蓄している毛布や非常食、衛生用品等を送らせていただきました。少しでも多くの被災者に届けたいとの思いから、上島町民の皆様も送りま

したもので、速やかに補充しなければならぬことから、議会

に諮る暇がなく町長専決処分とさせていただきます。今回の補正予算にその分を計上しておりますので、議員の皆様にはご理解の上ご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

また、上島町では、救済物資の他に5月13日から5月24日にかけて、熊本県南阿蘇村へ4名の職員派遣を行いました。これは現地での、り災証明関連事務や被災者生活再建支援金申請事務等の人的支援を行ったものです。上島町社会福祉協議会等も職員派遣などで被災地を支援していただいている他、私の把握以外にも多くの方々が支援していただいていることに心から感謝を申し上げます。

現在、熊本地震に対する救済物資については、愛媛県をはじめ県内自治体で対応しています。上島町民の皆様から頂戴した義援金についても、6月8日に日本赤十字に送金させていただきました。町民の皆様のご厚情に対し心から感謝申し上げます。今後とも、東日本を含めた被災地への変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

さて本日は、平成28年上島町議会第2回定例会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただき誠にありがとうございます。

3月定例会後の行政活動についての詳細は、上島町ホームページ内の町長活動報告にて代えさせていただきます、この場においては主な事項のみを報告させていただきます。

3月27日、岩城浜地区多目的グラウンドにおいて運動広場完成を記念した上島町グラウンドゴルフ交流大会が開催されました。当日

は、弓削・生名地区からも多くの参加があり、こけら落としにふさわしい盛大なイベントとなりました。今後も地域内外の活動ならびに交流拠点として、多くの住民の愛顔あふれる憩いの場となりますことを期待しています。完成にあたり改めて、土地の貸与をはじめご協力とご尽力いただいた地元の皆様から感謝申し上げます。

4月1日、平成28年の年度始めの挨拶を行いました。その主な内容は「新年度も行政運営における指針として、

◎「地方創生」を基軸に「上島町ゆめしま物語」を織り込んだ施策に取り組むこと。

◎造船や農水産業など、地場産業に対する支援や育成はもちろん、新しい文化である「サイクリングやクルージング」、古い文化である「歴史や遺産」、更に、「健康と観光交流」を各課の共通したツールとして盛り込むこと。

◎この上島町を「世界に誇れるふるさと」にするため、職員が心を合わせ「サービース・スピード・スマイル・サポート」の実践に向けて

歩みを共にすること。
◎特に本年は「スピード」に含まれる「レスポンスの速さ」を重点課題とし、町民からの要望や仕事上の指示事項に対し適宜適切に対応すること。

◎更に、施策の具体的な計画に当たっては

一、総合戦略や総合計画に則した施策であること。

一、5年先の姿を明確に視野に入れた、継続性のある施策であること。

一、「PDCAサイクル」に沿った施策であること。

一、上島町のストーリーを持ち、まちづくりを描く施策であること。

一、「古い文化」と「新しい文化」どちらかの共通項を含む施策であること。

一、「夢」がある施策であること。

以上のことを極力組み込むようにしてください。また、愛媛県は本年度より上島架橋課を新設し、平成33年完成に向けた「岩城橋」の工事に力を注いでくれています。

上島町創生においても上島架橋は大きな支柱であり、「ゆめしま海道」完全開通に向けての行程自体も、上島町民の「夢」と「希

望」に繋がることでしょう。世界が瀬戸内海の素晴らしさを知ることとなり、東南アジアはもちろんヨーロッパからの観光客が増えています。上島町が「世界に誇れるふるさと」であり、「夢を叶えてくれる町」として、世界からも注目されるためにも職員の尽力を期待しています。」ということを、全職員へ伝えております。

4月4日、愛媛県今治支局・東予地方局・愛媛県庁を回り、多くの県幹部職員等に新年度の挨拶と共に上島町の重要案件の要望を行いました。同様に4月8日、四国地方整備局、四国運輸局へ赴き、新しく着任された担当者などへ上島町の現状説明と要望を行いました。

4月7日、弓削高校入学式に参加し、新たに入学された21名の生徒にお祝いの言葉を述べさせていただきました。弓削高校は、本年度の入学者が20名に満たなかった場合、愛媛県県立高等学校再編整備計画の再編整備基準に該当するところでした。こうした状況を回避出来ましたのも、地元中学校との連携や学校方針の

保護者周知の強化、魅力ある学校づくりに取り組む職員の姿勢、更には地元関係者のご尽力の賜物です。この場をお借りして、弓削高等学校振興対策にご尽力いただきました多くの皆様に改めてお礼を申し上げますとともに、来年度以降も多くの入学者を迎える式典に参加出来ますことを切望いたします。

また、3月末から4月上旬には各地区の卒業式や入学式に多数出席させていただきました、大きな夢と期待の膨らみを感じ取ることが出来ました。

4月12日から14日にかけて、国土交通省、観光庁、総務省、農林水産省、文部科学省、文化庁など、東京の関係省庁へ新年度挨拶や各種要望活動を行いました。その内容については、指示事項を含め全ての職員にレポートしています。

4月14日から21日まで、「イタリア姉妹都市提携プロジェクト事業」として、ロジェクト事業として、議会や観光協会や代表、担当職員と



共に候補地選定現地視察を行いました。今回の視察は、その都度行政報告等で町民の皆様や議会にも報告してきたように、長い準備期間と様々な段階を経てきました。上島町の将来を見据え、平成28年度当初予算におけるイタリア視察について、議員の皆様が承認していただいたことに対し、改めてお礼を申し上げます。

議会にはすでに事業報告を提出させていただきましたが、今後はイタリア側のプリミ会長やコスタビレスピネッリ町長からのご提案のように、カステッラバーテという町を基本として姉妹都市協定提携を最終目標に友好交流を進め、その他の視察地に関しても友好都市と位置付け、この海岸地方全体と交流を深めて行くことが一番良い施策だと考えています。

カステッラバーテは、農業・漁業が盛んで、レモン・魚・ポーク・ジビエなどの食べ物をはじめ、サイクリングやサッカー、文化活動、人口規模や面積等、非常に上島町と共通している部分が多い町です。観光シーズンとなれば、普段8千人の人口が7万人

と膨れ上がるため、観光の先進地として、上島町は非常に参考になります。



また、カステッラバーテと上島町は気候や作物、海の色などが似ていますが、文化や歴史は異なっています。それゆえに、その全てを参考とするとしてもに刺激し合える要素として、お互いの町同士の発展に繋がるメリットになると考えています。

更に、カステッラバーテのコスタビレスピネッリ町長も、「上島町と友好協定を結ぶことで、観光客増を期待している訳ではなく、国際交流をすることが目的である。」と言われていたように、今後は、子どもたちや学生、コーラスや演劇などの文化、サッカーや自転車等のスポーツなどにより、住民同士の交流を深めることが重要です。将来の上島町にとって、地方創生におけるビジョンやストーリーの一貫性、プ

ライドやブランド醸成においても非常に期待を持てる、未来ある協定になるものと判断しておりますので、町民の皆様の積極的な参加をよろしく願っています。

4月28日に開催した岩城での町政報告会において、以前からの懸案事項である岩城最終便の増便要望の意見がありました。これは海上タクシー復活の動きを見たいため現在に至っていますが、岩城地区の生活や就業を支援するためにも最終増便の必要性は大きいと考えています。

今後は、現在の航路運航会社や住民の皆様の見解をお聞きしながら、岩城橋が完成するまでの期間の利便性を向上させるためにも、実現に向けて取り組んでまいります。

ただ、運航に当たっての予算も必要になってまいりますので、議会をはじめ町民の皆様のご理解をいただきたいと思っています。

上島架橋「岩城橋」については、以前からの報告の通り、上島町からの要望を受け、その実現に向けて中村知事をはじめとする愛媛県がしっかりと対応してく

れています。

愛媛県今治支局に今年度から上島架橋課を設置し、平成28年度には8億1千万円の実施予算が付いています。平成29年度に向けた愛媛県の国に対する要望書にも岩城橋架橋が最重要課題に位置付けられており、5月の四国地方整備局との建設事業調整会議の際にも、中村知事が直接、岩城橋予算を要請しています。

上島町民の皆様には、岩城橋の工事にあたって大変なるご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも更なるご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

4月30日、いきなスポレク公園蛙石野球場において、日本プロ野球名球会野球教室が開催され、上島町からは岩城中学校野球部、岩城ブルーレモン、弓削小、岩城小の児童有志が参加し、名球会メンバーの熱心な指導を受けました。子どもたちは少しでも上手になりたいと思う熱意を体現しながら、プロの一挙手一投足に目を輝かせていました。

5月16日には、上島町に新たなゆるキャラ「かみり



上島マスコットキャラクター かみりん

ん」が誕生しました。

選考では、応募総数1229点から最終候補10点が絞られた後、町内人気投票を行った結果、子どもから大人まで満遍なく支持され、特に女性人気が高かったことが評価されました。

この「かみりん」は、8月6日開催予定のふるさと夜市において、皆様にお披露目しますので楽しみにしていただきます。また、愛媛県が主催し、11月に松山市で開催の「ゆるキャラグランプリ全国大会」にもエントリーする予定としていますので応援をお願いいたします。



5月23日、新潟県佐渡市において全国離島振興協議会総会が開催され、「平成28年度

重点推進項目について」都道府県支部・市町村提出議題の取り扱いについて」等が議案として上程、承認されました。

これは、離島を取り巻く情勢が大きく変貌する中で、多くの離島は、依然として過疎化・高齢化が進行し、第一次産業の不振、観光の低迷に加えて、生産・生活両面の高コスト負担などにより定住環境の悪化は続いており、その抜本対策のための政策展開が求められていること。平成28年度は関係公共事業ならびにソフト事業予算の必要額を確保し、地域の実情に応じた各種事業実施により離島定住を確かなものにとするとともに、総合戦略に基づく「地方創生」に取り組みむとするためです。

離島振興とは地方創生です。

今回の総会内容については、離島航路補助制度の抜本改革を推進し、離島活性化交付金事業や離島漁業再生支援交付金制度等の活用など、積極的な提案をするよう指示を行うとともに、レポートとして全ての職員へ伝えております。

5月26日、愛媛県松山市

ひめぎんホールにおいて社団法人日本港湾協会の総会が開催されました。

主催者である宗岡日本港湾協会会長の挨拶の後、中村愛媛県知事や野志松山市長からの歓迎挨拶があり、望月自民党港湾議員連盟会長などが祝辞を述べられました。

総会には他にも多くの来賓が出席され、菊地国土交通省港湾局長から、熊本地震への対応について、平成28年度港湾局関係予算及びクルーズ船の寄港動向、港湾法の一部を改正する法律の報告をはじめ、会員による意見発表があり、その後、議事が決定されました。

5月27日は「歴史的な一日」になりました。戦後71年、広島市の被爆地に初めて、現職のアメリカ合衆国大統領が訪問したことは、長崎を含めた被爆者にとって、また日本人にとっても大きな意味がありました。オバマ大統領の挨拶ではその立場から、「謝罪」という直接の言葉は使われませんが、その所感の内容や表情、行動から、大統領の誠実な気持ち伝わってきました。また、大統領訪問に際しての、被爆者を代表

する方からの「謝罪はいらない」との言葉は、深い悲しみと共に日本人の高貴な品格を見たような気がしました。

今回の被爆地訪問で、オバマ大統領はもちろん世界の人々には、「心に感じるもの」があったはずで、この訪問が、亡くなられた方々や被爆された多くのの方々にとつて、心安らかな歴史的に刻まれる一日になったと私は信じています。

5月27日、松山空港において、消防防災ヘリコプター後継機就航式が行われました。これは、現有機の運航から既に20年が経過し、老朽化及び維持費負担を考慮して更新されたものです。後継機は、ホバリング性能等の進歩により、航行距離・低騒音・安全性・メンテナンス性が向上され、更には、テレビ電源システムの搭載により、災害現場映像をリアルタイムで送信可能となる等、救急活動の機能が大きく向上しています。上島町にとつても心強く、頼りとなる配備に大変感謝しています。

5月17日、愛媛県は重点項目29項目と重点項目26

項目の計55項目からなる「平成29年度重要施策提案・要望」を発表しました。

それに連動して5月30日・31日に各県庁へ要望活動を行いました。今回の特徴は、今までが知事と県議会議長等、愛媛県のみで実施していた要望活動を、初めて市長会長・町村会長を加えた4名の「チーム愛媛」、4本の矢で対応したことです。

担当大臣への提案と要望の説明にあたり、その最重要項目を更に精査・選択するよう国から要請がありました。例えば国土交通省への提案・要望においては、3項目に絞られております。このような厳しい条件の中で、愛媛県が3項目



の中の1項目として「上島町の岩城橋の計画的な推進事業」を選択していただくことに厚く感謝

し、大きな信頼を重ねるものです。2日間にわたる中村県知事と赤松県議会議長

との行動、重ねてほぼ全てが大臣対応と重要性と責任の重さは、今までに増しての緊張感がありました。

上島町としてもすでに、各部署単位で各担当課から重要案件や提案を示すこととしており、6月中旬に上島町最重要事項を作成し、7月中には関係省庁に出向いて陳情活動を実施することとしております。

次に、上島町の財政状況についてですが、平成27年度当初予算で取崩しを予定していた総額14億8百万円の基金も、計画的な予算執行や年度途中での更なる経費節減に努めた結果、ふるさと整備基金5千万円の取崩しのみを抑えられました。

なお、この基金につきましては、平成16年の4町村合併時に引き継いだ約35億円からほとんど取り崩しがありません。また、借金に当たる地方債残高も平成23年度末をピークに減少しています。これは、上島町では町村合併後大型事業に取り組んでまいりましたが、中長期財政計画に沿った事業運営により健全な財政運営に努めていることを表しています。

しかしながら、今後、合併算定替えの段階的な縮減に伴う交付税の減額により、今まで以上に厳しい財政状況を迎えること、先憂後楽の精神で将来を担う子どもたちに大きなツケを残さないためにも、上島町として更なる行財政改革に努めなければなりません。例えば下水道使用料の適正料金への見直し資料を議会にも提出してまいりますので、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

また、今回の補正予算においては生名総合支所庁舎改修事業や不燃物処理に係る最終処分場整備事業を計上しています。これらの施設は今後の上島町行政運営において必要不可欠な施設となりますので、町民の皆様のご理解をいただきますようお願い申し上げます。

さて、本年10月には、3500人規模の「サイクリングしまなみ2016」が開催され、今回も今治・尾道コースをはじめ5コースが設定されています。もちろん、上島町コースも入っており、事前エントリー（申込み）の3万円台という高額な参加費が伴う



プレミアムクラスが、わずか8分で予約完了という、私も予想出来なかった需要がありました。その後の一般エントリー（申込み）でも、今回は申込み順ではなく抽選としていたので、上島町コース定員300名に對し倍率4・23倍、という結果となりました。これは今治・尾道コースの4・08倍を上回るもので、サイクリストの上島町人気の高さと、地元町民が気づいていない上島町の魅力の大きささを出しているのではないのでしょうか。

年間を通して、サイクリングのお客様は増加しており、サイクルフリーの年度別実績を見ても、平成25・26年ともに前年比約1000人の増、27年度は前年比2630人の増となっております。月平均600人のサイクリストが上島町を訪れてくれています。ヨットやクルーザーのお客様も増えていることか

ら、今後、上島町は「海の駅舎」建設をはじめとする、交流人口対応に力を注ぐことで、新たな力を蓄えることが出来ると考えています。

結びに、今年の本屋大賞に輝いた「羊と鋼の森」という本に、「山と海。都会と田舎。大きい小さい。価値とは何の関係もない基準に、いつのまにか囚われていた」という一節がありました。まさにこれは地方創生の根本であり、「世界に誇れる品格あるふるさと」を目指すための指針であると考えます。

大人の私達こそは、都会を絶対視することを止め、都会を良しと田舎を否とする考えを子どもたちに押し付けてはなりません。

今後も、上島町の真の価値を見直し、本当の幸せとは何なのかを冷静に考えることで、これからも上島町の夢を、上島町民の皆様と追い続けたいと思っております。

各議案の主な内容及び議決結果

条例議案

■専決処分の承認を求めることについて

●上島町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する等の法律が、平成28年3月31日に公布されたことに伴い、関係規定を整備する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため専決処分したものの。

―承認―

●上島町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する等の法律が、平成28年3月31日に公布されたことに伴い、関係規定を整備する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため専決処分したものの。

―承認―

●上島町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する等の法律が、平成28年3月31日に公布されたこ

とに伴い、関係規定を整備する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため専決処分したものの。

―承認―

■上島町農業委員会農地利用最適化推進委員の定数等に関する条例

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農地利用最適化推進委員の定数について定める必要が生じたため。

―原案可決―

■上島町議会議員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

農業委員会等に関する法律の改正ならびに障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、関係規定を整備する必要が生じたため。

―原案可決―

■上島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

児童福祉施設の整備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改

正する省令が公布されたことに伴い、関係規定を整備する必要が生じたため。

―原案可決―

■上島町廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例

一般廃棄物の適正な処理を行うため、関係規定を整備する必要が生じたため。

―原案可決―

■上島町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部を改正する条例

農業委員会等に関する法律の改正に伴い委員の定数について定める必要が生じたため。

―原案可決―

補正予算議案

■専決処分の承認を求めることについて

●平成28年度上島町一般会計補正予算(第1号)

平成28年熊本地震における被災地支援物資の提供に伴い、町備蓄災害支援物資整備の補正をする必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため専決処分したものの。

―承認―

■平成28年度上島町一般会

計(第2号)・特別会計(一般会計)《全2議案》

■一般会計

【補正額】2億1960万円

【総額】69億2100万円

■特別会計(1会計)

○公共下水道会計

債務負担行為補正

―原案可決―

その他議案

■辺地に係る総合整備計画の変更について

本町の総合整備計画について変更する必要が生じたため。

―原案可決―

放送大学10月生募集

問 申込放送大学愛媛学習センター TEL 089

1923-8544

HP <http://www.ouj.ac.jp/>

放送大学では平成28年度第2学期(10月入学)の学生を募集中です。放送大学はテレビ、ラジオ、インターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い

分野を学べます。

■出願期間 【第1回】8

月31日(水)まで 【第2回】

9月20日(火)まで

資料を無料で差し上げています。お気軽にご請求ください。ホームページでも受け付けております。

若年求職者合同就職面接会

問 ジョブカフェ愛

work TEL 089-91

3-0909 HP <http://www.ai-work.jp/>

県内企業50社程度が参加する合同就職面接会を開催します。参加企業ごとにブースを設け、個別に面接を実施。是非ご参加ください。

■日時 8月19日(金)【新

規大卒者等】10時〜12時30

分【若年求職者】13時30分

〜16時

■会場 ひめぎんホール

真珠の間

■対象 【新規大卒者等】

平成29年3月大学等卒業予

定者・平成26年3月以降大

学等卒業者【若年求職者】

45歳未満